

「建築改修工事監理指針 令和7年版（上巻）」（令和7年12月1日発行 第1版 第1刷）の正誤表について
お手持ちの監理指針の奥付（最終ページ）の発行日をご確認いただき、下記により該当の「正誤表」による訂正をお願いいたします。

① 建築改修工事監理指針（上巻）令和7年12月1日発行 第1版 第1刷

該当 図書	頁	章節項	訂正箇所	誤	正
①	312	3.8.2	表3.8.1の表題	と いの管径と 1つの といが受け持ち得る最大屋根面積の <u>関係</u> 出典：国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築設計基準の資料」（令和6年）	管径と受け持ち得る最大屋根面積の <u>目安</u> 出典：国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築設計基準の資料」（令和7年）
①	703	6.5.1	上から7行目	(3) 表面仕上げ 「改修標仕」・・・、仕上げ等に <u>敵</u> した・・・	(3) 表面仕上げ 「改修標仕」・・・、仕上げ等に <u>適</u> した・・・
①	703	6.5.1	上から8行目	(3) 表面仕上げ 「改修標仕」・・・程度とされ、 <u>超自動かな</u> 、	(3) 表面仕上げ 「改修標仕」・・・程度とされ、 <u>超自動機械かな</u> 、
①	768	6.8.2	上から3行目	(b) 帯電防止ビニル床タイルは、・・・練り込み型の場合は、 <u>エマルジョン</u> 系接着剤でも	(b) 帯電防止ビニル床タイルは、・・・練り込み型の場合は、 <u>エマルション</u> 系接着剤でも